

# NEWS LETTER

金沢大学共同研究センター

第4号



## 環境分野研究成果報告会の開催

2月28日(木)、金沢大学工学部秀峯会館で、共同研究センター協力会、石川県環境ビジネス研究会の共催により、金沢大学の環境分野における研究成果の報告会を開催し、約60名の参加者がありました。

廣瀬共同研究センター長の開会の挨拶および金沢大学における共同研究支援体制についての報告の後、理学部、薬学部、工学部からの6名の教官の研究成果が報告され、報告後活発な質疑応答があり、大学の研究成果を広く社会に活用するためのきっかけとなる有意義な報告会となりました。

## 特許セミナーの開催

3月14日(木)、金沢大学工学部秀峯会館で、共同研究センター、共同研究センター協力会の共催により、「特許セミナー—大学の知的資源の有効活用—」が開催され、学内教職員及び学外企業関係者等多数の参加がありました。

畑工学部長の開会の挨拶に引続き、高橋市協和特許法律事務所顧問による「特許戦略の展開—活用できる有力特許の造出—」、渡辺久士名古屋大学先端技術共同研究センター教授による「名古屋大学の技術移転」、辻寛司(財)石川県産業創出支援機構特許電子図書館情報検索指導アドバイザーによる「特許電子図書館の使い方」と題して順次報告され、特許を身近に感じる有意義な機会となりました。

## 提案公募に関する説明会の開催

4月19日(金)、共同研究センター等共催により、「経済産業省平成14年度提案型技術開発事業(委託費・補助金)」に関する説明会が金沢大学工学部秀峯会館で開催され、学内教職員及び学外企業関係者等多数の参加がありました。

説明は、中部経済産業局正木朗総務企画部参事官による「産業クラスター計画北陸ものづくり創生プロジェクト」に引続き、同部星野章産業技術課長による「産学官連携の主な助成施策」について概要説明及び提案(申請)にあたってのポイントの解説があり、引続き具体的な

内容に関する活発な質疑応答が行われました。7月18日(木)には「研究成果活用プラザにおける実用化のための育成研究」課題募集に関する説明会が同じく秀峯会館で開催され、こちらも多数の参加者がありました。

説明は、研究成果活用プラザの梶川科学技術コーディネーターにより、平成14年度の育成研究事業の課題募集と申込み要領についての解説があり、所定の時間を超過する活発な質疑応答が行われました。

## アントレプレナーセミナーの開催

10月22日(火)、金沢大学工学部秀峯会館において、セミナーを開催しますので是非ご参加ください。聴講申込み等はセンターへどうぞ。

今回で4度目の開催となる本セミナーは、大学生・大学院生のベンチャービジネスプランの発表と「大学におけるベンチャーの可能性を探ろう」をテーマにパネルディスカッションを行う予定としています。

## インキュベーション施設の建設

現在、共同研究施設に隣接して、インキュベーション施設を建設しています。インキュベーション施設は、学内の研究成果や人的資源を活用して、起業化のための実用化研究を行うことを目的とした施設で、年内完成、年明けには使用開始予定で工事が進められています。

## 共同研究センター協力会総会の開催

7月22日(月)、KKRホテル金沢で、共同研究センター協力会設立後初めての総会が盛大に開催されました。

総会に先立ち理事会が開催され、総会では、渋谷弘利会長の開会挨拶、林学長の挨拶に引続き議事が審議され、平成13年度事業報告及び収支決算報告、平成14年度事業計画案及び収支予算案、顧問・参与・産学コーディネーターの委嘱について承認されました。なお、産学コーディネーターは次頁の方々をお願いしています。

現在も引続き共同研究センター協力会への入会のご案内を行っていますので、本会の趣旨に賛同される方のご参加をよろしくお願いします。

## 学外コーディネーター (50音順・敬称略)

有田 良児	(財)石川県産業創出支援機構 専務理事
石田 弘昭	金沢商工会議所中小企業相談所 次長
一丸 義次	(財)石川県産業創出支援機構 特許流通支援アドバイザー
岩田 紘一良	学校法人福置学園 常任理事
梶川 政右衛門	科学技術振興事業団研究成果活用プラザ石川 科学技術コーディネーター
北嶋 正廣	(財)石川県産業創出支援機構 新規事業支援部経営支援センターアドバイザー
後藤 裕	宇宙開発事業団筑波宇宙センター 施設設備室 調査役
新保 善正	科学技術振興事業団研究成果活用プラザ石川 科学技術コーディネーター
塚林 和隆	石川県工業試験場 次長(技術)
寺井 直明	科学技術振興事業団研究成果活用プラザ石川 館長
土肥 淳一	石川県工業試験場 場長
南部 修太郎	(有)アセット・ウィップ 代表取締役
西尾 昭史	西尾経営コンサルタント事務所 代表
福田 洋之	(社)石川県繊維協会 専務理事
藤森 淳二	(社)石川県鉄工機電協会 専務理事
細野 昭雄	(社)石川県情報システム工業会 会長
安井 武司	金沢市異業種研修会館 館長
吉田 博幸	(株)石川県ソフトウェア研修開発センター 専務取締役
渡辺 元彬	(財)石川県産業創出支援機構 特許流通アドバイザー

## 学内コーディネーター (50音順・敬称略)

飯島 素裕	経済学部助教授、共同研究センター委員会委員
江見 肇	工学部教授、元工学部長
太田 富久	薬学部教授、機器分析センター長
岡島 厚	工学部教授
尾田 十八	自然研究科長、工学部教授
辻 彰	薬学部教授、薬学部長
富田 勝郎	医学系研究科教授
鳥居 和之	工学部教授、共同研究センター委員会委員
廣瀬 幸雄	理学部教授、共同研究センター長、元学生部長
藤原 直史	工学部教授
松本 健	理学部助教授
山越 憲一	自然科学研究科教授、共同研究センター委員会委員
山田 外史	自然計測応用研究センター教授、共同研究センター委員会委員

## 産学連携チーフ・コーディネーター

平野 武嗣	共同研究センター 産学連携チーフ・コーディネーター
-------	---------------------------

## センター新任スタッフの紹介



平野武嗣産学連携  
チーフ・コーディネーター

本学校卒業後35年余り産業界に身を置き、日本経済の第1次隆盛期に製品輸出、現地生産、資本進出の業務を行って来ました。本年7月の就任以来、大学からの技術移転を迅速かつスムーズに移転するための機関を金沢に創設することが産学連携の早道と思いその準備に参加し、まもなくTLOは設立されます。共同研究に加え産業界が必要な技術の新機関を通じ大学から移転することを促進していきます。経済の第2次隆盛期に繋げていくことに貢献できればと思います。



矢野弘共同研究センター  
協力会事務局長

平成14年6月より共同研究センター協力会事務局の業務を担当しています。産学連携と相互の交流が一層深まるためにも、多くの方々にセンターを訪れていただけるように頑張りたいと思っています。よろしくお願いたします。



金沢大学共同研究センター  
NEWS LETTER 第4号 Sep.2002  
発行 金沢大学共同研究センター  
住所 〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-6111 FAX 076-234-4019  
E-mail jim@ccr.kanazawa-u.ac.jp  
http://www.ccr.kanazawa-u.ac.jp

## 金沢大学における地域一体型のイノベーション創出



金沢大学  
共同研究センター長  
(理学部教授)  
廣瀬 幸雄

### 1. 大学発ベンチャーの動向

7月30日の日本経済新聞に「大学発ベンチャーに関する調査結果が報じられています。

記事によると、2001年に国が発表した「大学発1000社ベンチャー構想」が順調に進行しているとのことで、全国の大学発ベンチャー226社に対して調査を実施、111社からの回答のうち大学教官が社長を兼務するのは33社(約30%)です。これら大学発ベンチャー企業のうち3年以内に株式上場予定の企業が合計21社といえます(国立10、私立3)ほどの大学が関係しているということです。

「敷居が高い」、「閉鎖的」などと評されてきた国立大学に変革の波が押し寄せています。産学連携や国際競争力の強化、そして2004年度にも始まる民間の経営手法を取り入れた独立法人化。それを先取りする形で、民間企業並みのビジネス展開への努力を始めたということです。

また、特許取得の有無については102社が回答しており、取得件数は308件、出願中も含めれば1,134件に達するとのことで、大学の研究成果を積極的に事業に活かそうという動きが広がっていることを表しています。特許出願

で大学の技術移転機関(TLO)を利用したのは14社ですが、利用を計画している41社と合わせると半数以上となり、TLOを積極的に活用しようという大学発ベンチャーの姿勢がうかがわれます。

今後この数は指数関数的に増加する可能性があります。北陸地域、我が金沢大学に目を移せば、技術移転や大学発ベンチャーの実績づくりに積極的に乗り出さねばならない時期を迎えていることは言うまでもありません。

2. 地域と一体となる大学を目指して  
文部科学省は今年度から「地域貢献特別支援事業費」を予算化して、国立大学の地域貢献を推進しています。国立大学が地域の歴史・文化・経済・産業と結びついた特色ある教育研究を展開し、地域の発展に貢献することが大学の使命の一つであるとの認識に立った地域連携事業です。

8月9日、国立大の地域貢献を推進する特別支援事業に応募した20大学のうち5大学が地域連携プロジェクトとして選定され、金沢大学もそのうちの一つということで誠に喜ばしい限りです。

金沢大学は石川県と金沢市との連携事業で、繁華街・香林坊の魔映画館を拠点に学生が文化を発信する「街中文化創造拠点『香林坊ハーバー』支援事業」として選定されたということです。

金沢大学では、平成12年9月から街中にサテライト・プラザという市民と大学の交流の場を街中に設け、様々なインフォメーションやミニ講演等を行っています。このような事業を契機に大学と地域の結びつきがより緊密になり、地域社会の中で大学の存在感が増すことが大いに期待されます。

大学の教育においてもキャリアプランやベンチャービジネス論などのより実学的な授業を行っ



ていますが、学生が目が大学の中にとどまらず、地域や社会に向けてこそ、その意味は倍増します。

また、共同研究センター内でも大学院生は企業の方々と丁寧な話し合いながら研究を行っています。

産学連携は教育、研究と同様に重要な大学の機能としてみられるようになった今、地の利を得ている北陸、石川、金沢という地域にしっかりと目を向けることが何よりも重要なことです。

歴史・伝統・文化の中で培ったDNAとも言える資源を、地域住民、自治体、企業、大学の間で共有しつつ、固有のニーズとシーズを再評価することが、国内外の大学と競争できるだけのアイデンティティを持ちグローバルな研究にも繋がることになることと確信しています。

昨年度から連携を図ってきている大連大学との国際共同研究もその実践の一つです。

### 3. ベンチャー可能な研究シーズ

金沢大学には、これまでの「ある学問分野の進歩に貢献する独創的な基礎研究」や、企業との共同研究として「ある産業分野の技術改良に貢献する応用的かつ技術的な研究」が研究資源として数多くありますが、産業界が「開発型中小企業やベンチャー会社の新商品開発に直接貢献する商品開発型研究」を求めていることに配慮すれば、ベンチャー可能な研究シーズの発掘が何よりも大切です。

例えば、一例をあげれば、次のようなものが研究シーズとして考えられます。

時代の要請や社会問題等を考慮すると、○携帯電話のバッテリーを瞬時に再生する技術

○高齢者のオムツ等をクリーン処理技術

○安全容易に土壌汚染を改良する技術

地域資源や地元のニーズを考慮すると、

○原子力発電所で処理が課題となっているラゲの資源活用技術

○鶏糞をエネルギー資源に変換するバイオマス技術

○海草（エゴ）等の海洋資源の有効活用技術

これらは、これまでにニーズをきめ細かく汲み取ったり、丁寧な技術相談から知り得たものであり、ベンチャーへの可能性が大きいにある研究シーズと考えています。

### 4. イノベーション創出

産学連携では、ニーズとシーズ、人的資源を的確に結びつけ、目的意識の共有と信頼関係を築くことが何よりも大切です。それは、大学教員が研究内容を相手に説明する努力、企業がそれを理解し課題を伝える努力、産学コーディネーターはお互いがわかる言葉で目標や成果を明確にする努力が、あって始めて為し得るものです。現時点での金沢大学における産学連携の目標は大学発ベンチャーや産業創出など、成果は研究の事業化やロイヤリティーなどと明確です。

つまり、地域と大学を結びつけ、目標と成果を得て、地域に還元するフローの実現であり、共同研究センター協力会、施設設備などの体制や環境は整いつつあるので、これらを効率的にインキュベーションシステムとして活用し、イノベーション創出に結びつけることが必要です。

そのイメージを以下に示します。

是非とも、一人一人が関係者としての認識を持って積極的にご協力いただくようお願いします。



## 平成14年度共同研究受入状況について

金沢大学では、平成12年度78件の共同研究を実施し、平成11年度38件から倍以上増加しました。平成13年度においては、更に増加して108件の共同研究を実施し、国立大学11番目の実施件数となりました。

今年度も引き続き着実に実施しており、8月末現在で契約が済み、共同研究が実施されているものは以下の通り108件で、既に前年度実績と同件数となっています。

A研究（12件）				
共同研究テーマ	共同研究先	教員所属局	職名	氏名
ITを用いた広域連携による生活向上に関する研究	ふくみつ光陽（株）	経済学部	助教授	飯島 泰裕
生体分子のナノ動画像を用いた高速原子力顕微鏡の開発	オリンパス光学工業（株）	理学部	教 授	安藤 敏夫
小児急性リンパ性白血病の抗腫瘍薬新薬候補におけるGVHDとサイトカインの関連の解明	協和発酵工業株式会社	医学系第1	教 授	小坂 晶一
アトピー性皮膚炎乳児における腸内細菌叢の特徴に関する研究	（株）ヤクルト本社中央研究所	医学系第1	教 授	中村 信一
新規抗がん剤の前立腺癌細胞に対する作用機序	武田薬品工業株式会社	医学系第1	教 授	並木 幹夫
医薬品の動態制御に関する研究	日本メジロフィジックス（株）	医 薬部	教 授	川井 孝一
化合物薄膜の高速成長の研究	CECインダストリアル（株）	工学部	教 授	堀 朋延
ポリグリセリン酸エステルが細胞にて沈殿を生じる時の構造変化の解明	大正製薬（株）	工学部	教 授	宮澤 重好
画像認識符号化応用・低消費電力・動き検出プロセスLSIの設計技術研究	（株）半導体理工学研究所	工学部	教 授	吉本 雅彦
蛋白質間及び蛋白質-核酸相互作用の解明	科学技術振興事業団	がん研	教 授	伊藤 隆司
子宮内環境に対する新たな治療法開発	三菱ウェルファーマ（株）	病 院	助 手	村上 弘一
新規抗がん剤候補用PETトレーサの開発	（株）石川炭産業創出支援機構	アイソトープ	助教授	柴 和弘

B研究（94件）				
共同研究テーマ	共同研究先	教員所属局	職名	氏名
クロムめっき膜の応力解析	トキコ（株）研究所	教育学部	教 授	佐々木敏彦
光技術を用いた骨格筋ミオグロビンの酸素代謝への介入に関する研究	バイオメディカルサイエンス（株）	教育学部	助教授	増田 和実
まちづくりにおける市民参加のあり方に関する共同研究	羽咋市	法学部	助教授	河村 和徳
モーションキャプチャーによる動作解析の3D化再現	NHK放送局（株）おトクショップドットコム	経済学部	助教授	飯島 泰裕
モーションキャプチャーによる動作解析の3D化再現	森田美術印刷株式会社	経済学部	助教授	飯島 泰裕
キノコオキスターゼの質的解析とその応用	（株）ビーロード	理学部	教 授	櫻井 武
エージングの実験に関する研究	（株）彼理工学研究所	理学部	教 授	田子 慎男
生物に起因する資材の腐食とスケールの付着機構	（株）日さく新薬支店	理学部	教 授	田嶋 和江
平澤系ミホシホファースの活性を制御するTheG5経路のリン酸化調節機構の解析	旭化成株式会社	医学系第1	教 授	多久 和隆
前立腺癌細胞に対するBisphosphonateの有用性に関する研究	山之内製薬株式会社	医学系第1	教 授	並木 幹夫
ステントグラフトの経路的研究	（株）カテックス	医学系第1	教 授	松井 修
早期発見診断支援システムの基本設計	（株）石川炭産業創出支援機構	医学系第1	教 授	山田 正仁
糖尿病治療薬の副作用の軽減	第一ファインケミカル（株）	医学系第1	教 授	山本 博
糖尿病診断精度向上のための免疫組織化学検査の標準化	（株）ファルコバイオシステムズ北陸	医学系第1	助教授	小田 恵夫
核内合成系のアセチルコリンの新しい機能に関する研究	（株）ファルコバイオシステムズ北陸	医学系第1	助教授	小田 恵夫
微小電極チップを用いたがんの診断システム	北斗化学産業（株）	医学系第1	助教授	金子 周一
新規抗がん剤モデルにおけるカルボキシステインの効果	合村製薬株式会社	医学系第1	助教授	藤村 政樹
抗がん剤治療によるマウス気道リモデリングに対するカルボキシステインの効果	合村製薬株式会社	医学系第1	助教授	藤村 政樹
アトピー性皮膚炎モデルでの増殖因子の作用機序	協和発酵工業株式会社マーケティングセンター	医学系第1	助教授	藤村 政樹
糖尿病に関する共同研究	花王株式会社化学品研究所	医 薬部	教 授	真田 弘美
非線形動的血液流路測定装置の開発	フクダ電子北陸販売（株）	医 薬部	教 授	高田 重男
パーフルオロアルキル置換アルケン類の新合成法の開発	和光純薬工業（株）	薬学部	教 授	石橋 弘行
因子間の相互作用に関する研究（その2）	スノーデン株式会社	薬学部	教 授	太田 富久
因子間の相互作用に関する研究（その2）	（株）エル・エスコポレーション	薬学部	教 授	太田 富久
遺伝子発現の調節に関する研究	（株）エフエフ	薬学部	教 授	太田 富久
複素環化合物の合成研究	萬有製薬（株）つくば研究所	薬学部	教 授	染井 正徳
尿酸産生抑制薬Y-700の非特異性副作用の解明	三善ウェルファーマ（株）	薬学部	教 授	辻 彰
DNAチップを用いた遺伝子発現解析に関する研究	第一化学薬品（株）薬物動態研究所	薬学部	教 授	藤井 毅
カメラを用いた距離計測と小型部品の形状検査に関する研究	ミツテック（株）	工学部	教 授	安達 正明
CBN工具によるハードミリングに関する研究	住友電気工業（株）	工学部	教 授	上田 隆司
産業廃棄物小型焼却炉から発生するダイオキシン類の抑制技術に関する研究	株式会社アクトリ	工学部	教 授	江見 康
プロセスガスの純化技術に関する研究	ダイダイン（株）技術研究所	工学部	教 授	大谷 吉生
サーモパイル式フローセンサの最適形状に関する研究	矢崎総業（株）	工学部	教 授	岡島 厚
構造多目的問題における最適化手法の構築研究	（株）日立インダストリアルズ開発研究所	工学部	教 授	尾田 十八
知的ビッグデータマシンの開発研究	（株）キンクレスコ	工学部	教 授	尾田 十八
地盤探査解析プログラムの高精度化	（株）クローネ	工学部	教 授	北浦 勝
相変化メモリの実用化に関する研究	（株）日立製作所中央研究所	工学部	教 授	北川 章夫

共同研究テーマ	共同研究先	教員所属局	職名	氏名
有機エルビウム結晶薄膜における欠陥に関する研究	日本電信電話（株）フォトニクス研究所	工学部	教 授	久米田 隆
電着塗料におけるエマルジョン析出挙動に関する研究	YKK（株）	工学部	教 授	小村 順寿
セルラードマトンによる土工性能向上技術の研究	株式会社小松製作所研究本部	工学部	教 授	佐藤 秀紀
エコ交通運輸推進方策研究調査	金沢市	工学部	教 授	高山 純一
鉄筋コンクリート構造物の塩害腐蝕に関する研究	株式会社クレストエンジニア	工学部	教 授	島田 和之
超小型アンテナ開発	有限会社ツインズ	工学部	教 授	長野 満
無機系建築材の劣化と水処理装置の改善に関する研究開発	住友建設（株）	工学部	教 授	中本 義章
油圧サーボ系の制御性能向上に関する研究	（株）本田技研研究所	工学部	教 授	藤田 政之
リアルタイムシステム構築のためのモニタリング及びデバッグ環境開発に関する研究	（株）リンクス	工学部	教 授	藤田 政之
トルクサーボ系の制御性能向上に関する研究	（株）本田技研研究所	工学部	教 授	藤田 政之
鉄像による歩行位置分析に関する基礎研究	日立機電工業	工学部	教 授	宮澤 重好
浄水方法の開発	株式会社ビーロード	工学部	教 授	元井 正敏
レーザアブレーションによる光に敏感な技術に関する研究	太陽誘電株式会社	工学部	教 授	森本 孝治
クロムめっき膜の結晶構造解析	トキコ（株）研究所	工学部	教 授	門前 亮一
ウエハ熱処理用Hot Plateの温度分布解析	京浜機器（株）	工学部	教 授	山田 敬郎
変位地系半導体レーザの構造最適化に関する研究	シャープ（株）	工学部	教 授	山田 政之
均一射出技術	住友軽金属工業（株）研究開発センター	工学部	教 授	米山 猛
SiGe半導体の増幅に関する研究	（株）アイ・エッチ・アイ・エス・スペース	工学部	助教授	佐々木公洋
数値解析による潜熱回収熱交換器の最適化設計	（株）ノーリツ	工学部	調 師	橋本 啓士
スターリングエンジンによる小型コージェネレーションシステムに関する研究	松村物産（株）	工学部	調 師	橋本 啓士
重金屬溶出抑制剤に関する研究	北陸電力（株）	工学部	調 師	長谷川 浩
金沢平野での地盤調査	三菱スーパース・ソフトウェア（株）	自然・環	教 授	吉本 宗元
有効増殖温度の紫外光照射による測定方法の検討	企業組合ひかり情報技術	自然・環	助教授	徳村 邦弘
交通振動解析及び騒音予測に関する研究	大日本コンサルタント（株）	自然・工	教 授	柳川 康男
メカトロサーボ技術の研究	神電工業（株）	自然・工	教 授	神谷 好孝
レーザアブレーションによる光に敏感な技術の開発	太陽誘電株式会社	自然・工	教 授	森本 孝治
非侵襲性・動態化・動態解析装置の開発	株式会社メディセン	自然・工	教 授	山崎 孝一
手術における連続血圧計測法の開発研究	（株）オムロンライフサイエンス研究所	自然・工	教 授	山崎 孝一
ストレス測定装置の開発	（株）センサ	自然・工	教 授	山崎 孝一
非侵襲的血糖計測法の開発研究	エスコム（株）	自然・工	教 授	山崎 孝一
原料石灰灰を利用した吹き付け工法に関する研究	西松建設（株）技術研究所	自然・工	助教授	五十嵐心一
結膜免疫制御機構の研究	理化学研究所	がん研	教 授	大野 博司
炭素繊維を利用した機能性食品研究開発	石川県	がん研	教 授	佐々木孝雄
肝炎ウイルスゲノムの検出方法の開発	北斗科学産業（株）	がん研	教 授	村上 清史
テロメーゼの構造解析研究及びテロメーゼ結合性化合物のスクリーニング	第一製薬（株）創薬第三研究所	がん研	教 授	村上 清史
SPECTにおける最適なデータ収集、処理法の検討	（株）東芝医用システム社	がん研	教 授	利根 紀久
造影MRIアンギオ造影の診断能及び検査効率の向上	G E 株式会社メディカルシステム（株）	病 院	教 授	松井 修
フラットパネルX線ディテクターを用いた新しい胸部動態画像診断に関する研究	キャノン（株）DR事業推進センター	病 院	教 授	松井 修
直接血液型免疫学的LDL吸着カラムの検討	鐘淵化学工業株式会社	病 院	教 授	馬場 宏
マイクロアレイ・手動台の開発	瑞穂理工工業株式会社	病 院	教 授	山下 純宏
Gemtypeb12ウイルス量のC型慢性肝炎治療におけるウイルス減量効果の有効性検討	旭メディカル（株）	病 院	助教授	金子 周一
ネフローゼ症候群における白血球除去法の臨床研究	旭メディカル（株）	病 院	助教授	橋山 仁
血液透析における溶媒の性能向上に関する研究	ニプロ株式会社	病 院	調 師	谷口 功
エコ型合（パネ）の物性評価	石川県エコ製品開発協賛組合	共同セ	教 授	廣瀬 幸雄
水素水発生装置を用いた応用開発	（株）イーシー・ジー・エス・カンパニー	共同セ	教 授	廣瀬 幸雄
新エネルギーとそれを利用した装置開発	（株）ナカヤマ・エッグ	共同セ	教 授	廣瀬 幸雄
エゴ製の商品用途について	鶴岡製工合議所	共同セ	教 授	廣瀬 幸雄
有害物質の自然系における挙動に関する基礎的研究Ⅱ	東邦エー株式会社	計測・環	助教授	佐藤 賢
粘土鉱物の構造に関する基礎的研究	日本ポリケム（株）	計測・環	助教授	佐藤 賢
コンクリート構造物の長期変位挙動の解明	日本国土開発株式会社	計測・環	助教授	佐藤 賢
モニタリングシステムの開発及びその分布に関する研究	クニミネ工業株式会社	計測・環	助教授	佐藤 賢
有害物質の自然系における挙動に関する応用研究	東邦エー株式会社	計測・環	助教授	佐藤 賢
セメント・コンクリート・土壌相互作用の基礎研究	（株）太平洋コンサルタント	計測・環	助教授	佐藤 賢
自然浄化機構に学ぶ山麓水処理システムの構築と回収・統廃の資源化	金沢協業事業団	計測・環	助教授	佐藤 賢
産業廃棄物用小型焼却炉の開発及び高濃度汚染水処理に関する研究	株式会社アクトリ	計測・工	教 授	金岡千尋男
二酸化チタン・バイオ融合ナノ粒子の合成	石川県	計測・工	教 授	清水 宣明
二酸化チタン/超音波照射法による有害物質分解反応の研究	明和工業株式会社	計測・工	教 授	清水 宣明

C研究（2件）				
共同研究テーマ	共同研究先	教員所属局	職名	氏名
遺伝子ネットワークの研究支援システムの開発	インテリジェントシステムズ（株）	がん研	教 授	伊藤 隆司
クロニンチンの遺伝子解析	石川県	遺伝子	教 授	山口 和男